



インスピレーションになる
2018-19 年度 RI テーマ
BE THE INSPIRATION
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝 4-7-16
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2018-19 年度
会長：飯田敏之 副会長：渡邊芳隆 幹事：漆畑雄一郎 副幹事：森竹正晃

例 会 第 1304 回： 通常例会/小杉苑

ソング 君が代、奉仕の理想：ソングリーダー 笠原大輔君

■ 会 長 報 告

飯田敏之君



皆さん、こんにちは。

先週の藤枝クラブとの合同の賀詞交換会もとうとう終わって、成人式のあと 15 日からは皆さんも本格的に通常の業務・生活が始まったと思います。

私は、賀詞交換会の次の日 午後に提出する見積もり書を打ち込んでいたのですが、どうも熱っぽいかな？と昼食とらずに一度横になりました。夕方には 38.8 度の熱が出でいてこれはまずいな～と川口内科にいったのですが ちょうど木曜日で休診日でしたので 翌日、一番で受信したところ インフルエンザの A 型と診断されました。その日は薬を処方してもらい家でおとなしくして、熱も下がっていたので翌日の土曜日には会社に出て行ったのですが、事務員からみんなにうつされたら大変ですからと 叱られてその日もう一日家を出ずにおりました。

自宅では、母にうつしてしまい情けない思いで一杯でした。

社員は、後三人かかりました。

静岡の高校も 140 名の生徒がかかり学校閉鎖

にまでなっております。予防接種をしても症状が少し軽いくらいで感染はしてしまいます。

まとまった雨も降らないこの時期、毎晩のアルコール消毒も効き目のないインフルエンザ、どうか皆さんも感染の予防をお忘れなく。

本日の理事会でも 2. 3 月のスケジュールが決まりました。

クラブ計画書を変更して「成田山での節分行事参加」・「お花見例会」を企画いたします。

6 月の最終夜間例会・親睦旅行と自分がなにか忘れてしまうほど イベントが盛りだくさんではありますが、今年度の後半も 最後まで盛り上がって行きたいと考えております。

皆さんのお手伝い・ご協力をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

■ 理 事 会 報 告

漆畑雄一郎君

1. 2,3 月プログラムについて 承認されました。
2. 年忘れ公開夜間例会決算について 承認されました。
3. RC 杯 U-10 サッカー大会について 参加予定の方は現地に集合願います。
4. 節分例会について 承認されました。
5. 中間決算について 報告がありました。
6. 会員旅行について 日時・旅行先について報告があり、費用の把握のため案内を送付します。
7. その他 次年度補助金の件、米山奨学生受け入れの件 会長エレクト対応でお願いしました。

■ 幹 事 報 告

漆畑雄一郎君

年賀状・ロータリーカード実績表・RI 囲碁大会・ハイライトよねやま・英字 Rotarian を回覧いたします。

■ 出席報告

加藤智之 君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
39/50 78%	47/50 94%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○阿井君 ○池ヶ谷君 ○鈴木寿君
○村松君 ○望月君 ○渡辺哲君 江崎君
川口君 佐野裕君 鈴木照君 早川君

(2) メイクアップ者

伊藤彰彦君 (藤枝) 樽井勉君 (藤枝)
古川賢吾君 (島田) 望月誠君 (焼津)

■ スマイルBOX

加藤智之 君

- ・誕生祝い ありがとう！ 富澤静雄君
- ・プレゼントありがとうございました。
1月25日で48歳 年男です。中山恵喜君
- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございます
おいしく飲ませていただきます。
漆畑雄一郎君
- ・妻の誕生日プレゼントありがとう
玉木末雄君
- ・30数年たちました。夢のような30年でした。謝々 内山淑夫君

スマイル累計額 399,000円

■ 会員卓話

中村博史君



環境といっても、幅が広くてどうしたらいいのか考えました。

サッカー王国静岡の環境

なぜ静岡のサッカーは全国で勝てなくなってし

まったのか。

今年の高校サッカー選手権静岡県代表男子は、浜松開誠館高校。女子は、藤枝順心高校。共に一回戦敗退でした。藤枝順心高校は、地元でもあり前回大会王者だったので、非常に残念でした。

この前の成人の日に決勝を行った高校サッカー選手権大会。優勝をしたのは、青森県代表の青森山田高校でした。決勝の相手は、千葉県代表の流通経済大柏高校。

2017年優勝高は、群馬県代表前橋育英高校。準優勝は、今年も準優勝だった、千葉県代表流通経済大柏高校。

2016年優勝高は、今年優勝した青森山田高校。両校共、最近の強豪校です。

その前といいますと、2015年東福岡、2014年星稜(石川)、2013年富山第一(富山)、2012年鵬翔(宮崎)、2011年市船(千葉)2010年滝川二高(兵庫)、2009年山梨学院大付属(山梨)、2008年広島皆実(広島)。最近の10年間の優勝高です。

静岡県代表の優勝は、1995年74回大会が最後で、静岡学園高校と鹿児島実業の両校優勝の時でした。

これが、両校共に全国大会初優勝。現在は決勝戦もPKで決着をつけているので最後の両校優勝の大会でした。

この時の大会で今でも有名な選手といいますと、鹿島アントラーズ、また日本代表でもあった、柳沢 敦(富山第一)、そして、日産マリノス、現在ジュビロ磐田、また日本代表だった、中村俊輔(桐光学園) 皆さんもご存じではないでしょうか。地元、藤枝東高校の全国大会優勝、準優勝は、1970年、49回大会。同じ静岡の浜名高校との決勝戦、3-1勝利して優勝しました。これが全国大会優勝の最後の大会です。今年で49年になります。ちなみに、この年に私が生まれたため、記憶もございません。

準優勝は2007年、86回大会。12年前です。この大会は記憶に新しいのではないのでしょうか。この時のキャプテンが現在清水エスパルスの河合選手です。

河合選手率いる藤枝東高校と決勝で戦い優勝した高校が、流経大柏高校。この年の得点王が、大前元紀選手で、後に清水エスパルスで河合選手と一緒にプレーしていました。

現在は、移籍してJ2大宮アルディージャで活躍しています。

中学の年代ではどうでしょうか。

全国中学校サッカー大会。

過去 10 年間の大会では、2012 年、43 回大会に青森山田中（青森）が初優勝してから 5 回優勝していて、45 回大会から 48 回大会まで 4 連覇しました。

静岡代表の優勝は、2010 年 4 1 回大会、常葉学園橘中の優勝が最後です。

藤枝の代表が全国大会で優勝したのが、1980 年、11 回大会の藤枝中が最後になります。

今では、高校、中学だとクラブチーム、ユースチームのカテゴリーと、学校のカテゴリーと別れています。リーグは、クラブ、学校の両方共参入できます。プリンスリーグ、プレミアリーグと別れていて、プレミアリーグが最高峰のリーグで、みんなここを目指して頑張っています。このリーグでトップにいれば事実上の同年代の中のトップのチームと判断できるのではないのでしょうか。

小学校ではどうでしょうか。

全日本少年サッカー大会。

2001 年、静岡 f c の優勝が最後です。藤枝は 1987 年、藤枝 f c が準優勝。

このカテゴリーは、少年団、クラブチーム、J リーグの下部組織も混成で争ってるので事実上、同年代の中の優勝と判断できます。

最近の 10 年は、ほとんど J リーグの下部組織のジュニアチームが上位を争っている状態です。

何年も全国の舞台で優勝を見ていない静岡のサッカー。

「元祖 サッカーのまち藤枝」「サッカーのまち清水」「サッカー王国静岡」

過去の栄光になってしまったように感じます。

さて、それでは、昔と今で、何が変わってしまったのでしょうか。

重大なことは、昔と今では、サッカーを取り巻く環境が大幅に変わったことだと思います。

・ J リーグが発足。下部組織育成の強化。

1992 年設立してから J 1 では 18 チーム、J 2 は 22 チーム、J 3 は、15 チームがあります。これらのチームが全国にあり、各々の下部組織を形成して運営しています。

各地域のトップレベルの多くの選手は、ここを目指し、年代のトップ中のトップが、J リーグの下部組織に属していると思います。プロサッカー選手になるための一番の近道でもあります。

・ジュニアのクラブチームの増加

日本の小学校の年代は、少年団が一般でした。父兄が主になって運営して、父兄の中のサ

ッカー経験者がコーチになって、自分の時間を削って子供の為に指導しています。

私は、少年団でお世話になりました。少年団特有の雰囲気がとても好きでした。

そこに、様々なクラブチームが参入してきます。プロ選手が引退して各地域へ戻りサッカースクールを営業する場合があります。

どうしても、父兄コーチの限界があるところで、よりサッカーの上達を望みたい子供たちが、専門のコーチのいるクラブチームへ移っていきました。専用のバスがあったり、親の送り迎え等の負担が少ないのも魅力ではないでしょうか。

とにかく、少年団からクラブチーム、スクールに選手が集まるという、この現象が全国で広がっています。

・魅力のある私立校への進学

各年代のトップ中のトップの大勢は、J リーグの下部組織へ進路をとります。

絶対とは言えませんが、そのトップ中のトップに届かなかった選手が、海外へ行ったり、中・高校の有名私立学校へ進学していきます。

冒頭での青森山田校、流経大柏の例もそうですが、同じ学校の中に、中等部があって、共に全国トップレベル。全国からそこを目指してたくさんの部員が集まります。青森山田にかぎっては、高校では、部員数 175 人。中学では 80 人。主に東日本の選手が多いと思われます。また全寮制で、中等部の義務教育の期間でも、午後から部活の練習を行っています。専用のバスで全国各地転戦し、本州最北端の青森から、九州までバス移動。

有名私立校ですと、筋トレルーム等設備の充実、食育の指導、先生による勉強の指導など。

サッカーだけでなく大学進学にも、私立の学校では魅力があるのではないのでしょうか。

では、静岡ではどうでしょうか。

静岡の有名私立高校でも、他県の最近の強豪校と比べて、設備、コーチの数等で差が出てきたように感じます。

全国レベルでトップレベルにいない、勝てていない為、全国から人も集まらない。

勝利がすべてではない。特に育成の年代ではそう思われますが、勝利しないと人の目が集まらない。これも現実です。

特別な能力のある選手。例えば、点取り屋、センタリング職人、相手をなぎ倒すファイター、ヘディング職人など、特化した選手を育てるのも面白いかもしれません。

このままでは、昔ながらの少年団や、公立の伝統校などは勝てないし、勝てないイコール魅力の低下につながって、衰退していってしまう気がします。

過去の栄光にとらわれすぎて、最近の状況を見て見ぬふりをしてきたのが今の静岡のサッカーではないかと思います。

その間に、全国のチーム、指導者が全体のレベルを底上げしてきました。

これが、静岡の勝てなくなった現在です。

これからが勝負です。

まだ、有名な人が、現役選手や指導者でいるうちに、過去の栄光にとらわれず、このサッカーを取り巻く環境の変化を正面から受け止めて、静岡が一つになって王国 静岡、サッカーのまち藤枝を復活出来たらいいなと思います。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
1/25(金) 第 1305 回	外部卓話	小杉苑
2/3(日) 第 1306 回	節分例会	藤枝成田山
2/8 (金) 第 1307 回	会員卓話	小杉苑
2/15 (金) 第 1308 回	クラブ研修会	小杉苑

■ 今週の一言

渡邊博文 君



当クラブには、渡邊という苗字が3名います。「なべちゃん、なべさん」とい

った呼称で呼ばれることが多く 3名とも当惑することが多くあります。

小中高と「わんたん」と呼ばれていました。

謂れは、わかりません。

JC時代になると、「プリモ」とか、「プリモのなべ」

とか、会社の屋号での呼び方が多くなりました。しかし、今現在、「プリモ」の屋号ではありません。したがって、昔にもどって、「わんたん」と呼んでください。

倶楽部ネーム一覧

氏名	クラブネーム
飯田敏之	カルロス
漆畑雄一郎	バタヤン
渡邊芳隆	次男のナベちゃん ガス屋のナベちゃん
森竹正晃	モリタケ
鈴木健夫	タケオ
杉山茂範	モゲ・シゲさん
平原 望	ひらはら・ひら・ペー
鈴木寿幸	コブキさん
藪崎 茂	やぶ
鈴木照竟	ショウキョウ
杉浦 聡	さとる
富澤静雄	会長
小林正敏	マーちゃん
内藤浩光	内藤浩光
竹田敏和	たけだ、たけちゃん
樽井 勉	お坊さん
渡邊博文	わんたん



おめでとうございます！



(担当／森竹君)